

「未来を守る！新潟・長岡防災セミナー」を開催

～中越地域の災害特性を知り、日常の延長で実践する備えを考える～

日本損害保険協会関東支部新潟損保会（会長：村山 洋一郎）は、10 月 10 日（土）、新潟県損害保険代理業協会と連携し、新潟県、新潟県地震等災害保険・共済普及協議会との共催により、長岡市のアオーレ長岡 市民交流ホール A において、新潟県、新潟県地震等災害保険・共済普及協議会[※]の共催により「未来を守る！新潟・長岡防災セミナー」を開催しました。当日は 115 名が参加し、今後想定される中越地域の大規模地震や災害への備えについて、知識と理解を深めました。

※新潟県地震等災害保険・共済普及協議会は、自然災害後の生活再建に備える保険・共済の加入促進を目的として、新潟県と民間団体で構成された協議会です。

当支部では、今後も関係機関・団体と連携し、地域の災害特性を正しく知り、日常生活の中で実践できる備えを広げることで、防災・減災に係る意識向上と地域防災力の強化に取り組んでまいります。

「未来を守る！新潟・長岡防災セミナー」詳細

1. 開会挨拶

開会にあたり、主催者を代表して、関東支部委員会の中西 貴志委員長から、「新潟県に暮らす私たち自身のリスクを正しく知り、その知識を帰宅後に家族と話し合ったり、家具の固定や備蓄品の見直し、ハザードマップの確認、地震保険・共済などの経済的な備えの検討へと具体的な行動につなげてほしい」と挨拶がありました。

2. 講演概要

(1) 第 1 部

新潟大学災害・復興科学研究所所長・教授のト部 厚志氏から、「中越地方の自然災害を読み解く～ハード面からの検証～」と題して講演がありました。講演では、7 月 28 日に発生した令和 8 年熊本地震の被災地調査を踏まえ、活断層による地盤のずれが住宅、道路、鉄道、水道などに及ぼす影響や、避難生活を支えるトイレ、給水、洗濯、冷暖房等の支援の進展について説明しました。また、中越地震から 21 年が経過した今、「長岡平野西縁断層帯」による地震も視野に入れ、県の地震被害想定を地域ごとの備蓄量や避難者数、必要な支援の検討に活用し、冬季や積雪時の災害にも備える必要があると訴えました。

(2) 第 2 部

群馬大学理工学部大学院理工学府教授の金井 昌信氏から、「災害時の人間行動」と題して講演がありました。講演では、防災は住む場所や家族構成によりどこまで備えるかには唯一絶対の正解はなく、各自の覚悟の問題でもある。従来の常識をいったん疑い、自分や家族に合った備えを考えることが重要であると説明しました。日常的に使う食品を少し多めに備えるローリングストック、携帯トイレの携行、車の燃料を半分以上にしない習慣など、普段の生活の延長で続けられる具体策を紹介し、「本当に大きな被害を受けた地域へ支援を集中するためにも、周辺地域の一人ひとりが自力で一定期間を乗り切れる備えを」と呼びかけました。

(3) 第 3 部

新潟県防災局防災企画課の中村 承二課長から、「災害の備えに関する新潟県の取組」と題して講演がありました。講演では、県民行動指針に基づき、地域の災害リスクや避難先を知ること、家庭内備蓄や携帯トイレを準備すること、マイ・タイムラインや個別避難計画を作成することの重要性について説明しました。さらに、ハザードマップや避難情報を確認できる「新潟県防災ナビ」、過去の災害記録を閲覧できる「新潟県災害デジタルアーカイブ」、避難所での受付や支援情報の受信に活用できる「新潟県避難所アプ

り」を紹介し、実際に使い、体験する訓練の必要性を訴えました。

(4) 第4部

当協会新潟県損保会の村山 洋一郎会長から、「自助への備え～地震保険・共済～」と題して講演がありました。講演では、地震・噴火・津波による損害は火災保険だけでは補償されず、生活再建には地震保険・共済による経済的な備えが重要であること説明しました。また、新潟地震を契機に地震保険制度が創設された経緯や、政府と民間保険会社が共同運営する仕組み、液状化による建物の傾斜・沈下も支払い対象となることを紹介し、加入状況や補償内容を改めて確認するよう呼びかけました。

3. 閉会挨拶

新潟県損害保険代理業協会の小山 恒弘会長から、「中越地震や中越沖地震の経験と教訓を風化させず、家庭や職場、地域に持ち帰って、非常持出品、家具の転倒防止、避難場所・避難経路、家族との連絡方法、保険によるリスクへの備えを一つでも実践してほしい」と挨拶があり、盛況のうちに幕を閉じました。

4. アンケート結果

参加者へのアンケートでは、セミナー内容について回答者の全員が「とても役に立った」または「役に立った」と回答しました(アンケート 3. (1)参照)。セミナー全体の満足度についても、94%が「非常に満足」または「満足」と回答しました(アンケート 3. (2)参照)。また、家庭でできる防災対策について、70%が「すぐにでも何か対策を講じようと思う」、27%が「今後何か対策を考える必要があると感じた」と回答しました(アンケート 3. (2)参照)。これにより、防災への意識の高まりを確認することができました。

地域のリスクに関する意識については、「より意識が高まった」、「今回さらに意識が高まった」、「これまであまり考えていなかったが、重要だと感じた」との回答が97%を占め、セミナーを通じた意識の変化が確認できました(アンケート 4. (1)参照)。

セミナーを受けて今後取りたい行動について(複数回答)は、75%が「防災用品・備蓄を見直したい」が最多となり、37%が「自宅や地域の危険性を改めて調べたい」、32%が「家族と防災について話し合いたい」となりました(アンケート 5. (1)参照)。セミナーを通じて行動変容へと繋がったのを確認することができました。また、地震保険・共済の必要性については、96%が「強く必要性を感じた」または「ある程度必要性を感じた」と回答しました。「携帯トイレを備えます」「ローリングストックに切り替えたい」「町内会や自主防災会で共有したい」など、具体的な行動につながる感想も寄せられました。



中西支部委員長 開会挨拶



新潟大学 ト部教授の講演



群馬大学大学院 金井教授の講演



新潟県防災企画課 中村課長の講演



新潟損保会 村山損保会長の講演



新潟代協小山会長 閉会挨拶



会場の様子

「未来を守る！新潟・長岡防災セミナー」アンケート結果

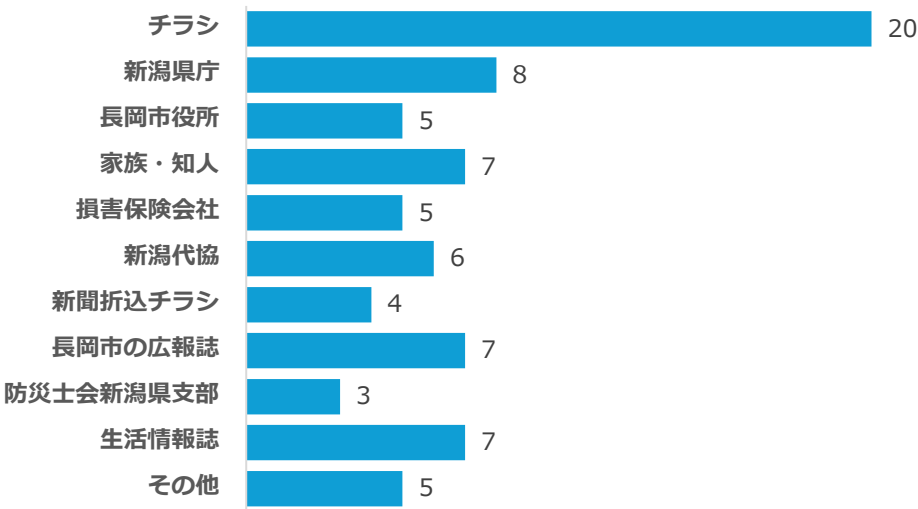
セミナー参加者数 115
アンケート回収数 71 アンケート回収率 61.7%

性別	男	女
	38	29

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計
	1	2	3	8	15	23	19	71
	1.4%	2.8%	4.2%	11.3%	21.1%	32.4%	26.8%	

すまいの地域	長岡市内	県内長岡市外	新潟県外	合計
	47	23	0	70

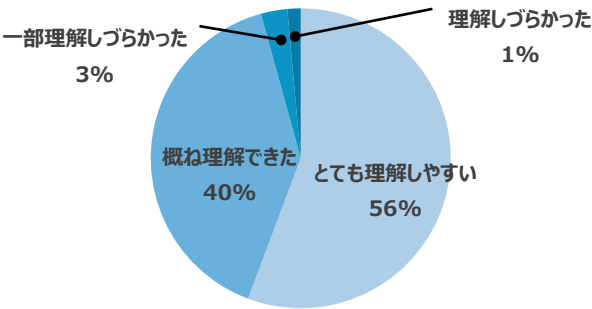
1. 本日のセミナーをどのように知りましたか（複数回答）



2. セミナー内容の理解度についてお聞きます。

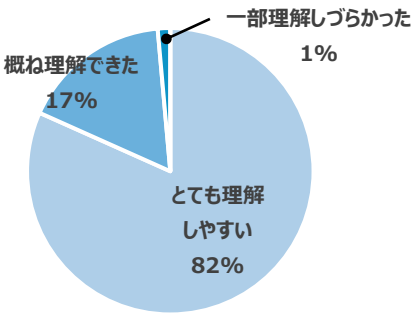
(1) 「中越地方の自然災害を読み解く～ハード面からの検証～【新潟大学・ト部教授】

とても理解しやすい	39
概ね理解できた	28
一部理解しづらかった	2
理解しづらかった	1



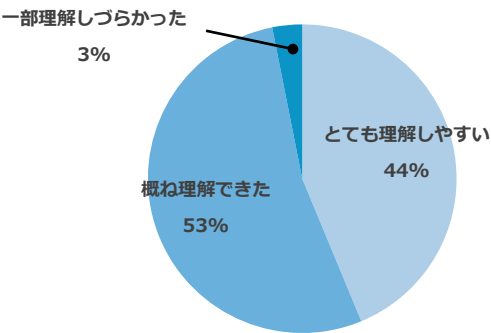
(2) 「災害時の人間行動」【群馬大学大学院・金井教授】

とても理解しやすい	58
概ね理解できた	12
一部理解しづらかった	1
理解しづらかった	0



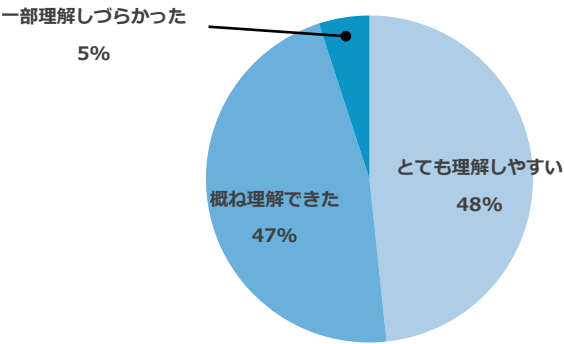
(3) 「災害の備えに関する新潟県の取組」【新潟県防災企画課・中村課長】

とても理解しやすい	28
概ね理解できた	34
一部理解しづらかった	2
理解しづらかった	0



(4) 「自助への備え～地震保険・共済～」【新潟損保会・村山会長】

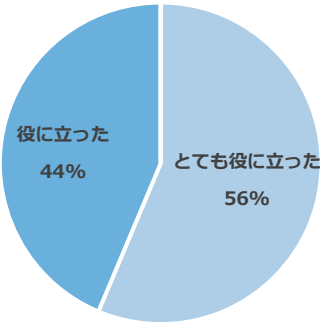
とても理解しやすい	29
概ね理解できた	28
一部理解しづらかった	3
理解しづらかった	0



3. セミナー内容の【有用性・満足度】についてお聞きます。

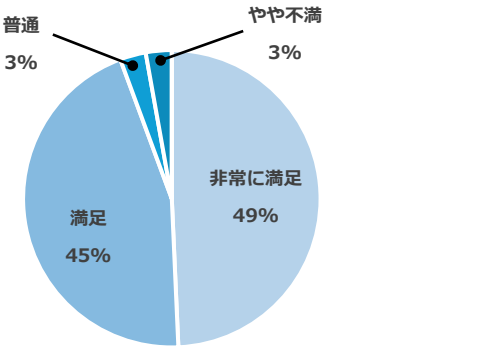
(1) 本日のセミナーの内容は、防災に役立つものでしたか

とても役に立った	40
役に立った	31
あまり役に立たない	0
全く役に立たない	0



(2) セミナー全体の満足度を教えてください

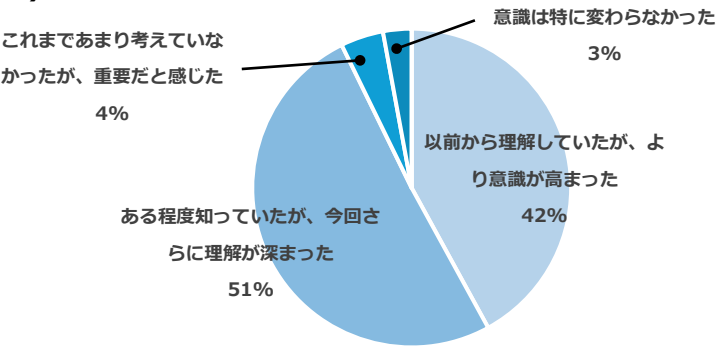
非常に満足	35
満足	32
普通	2
やや不満	2
不満	0



4. セミナー受講による【意識の変化】についてお聞きます。

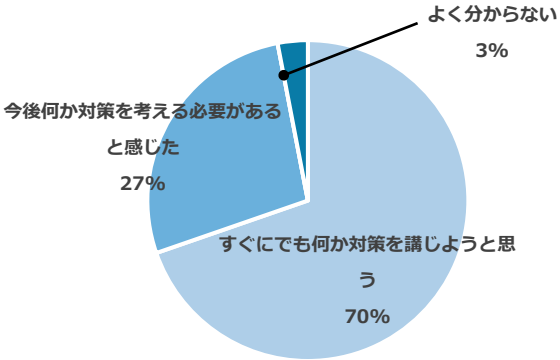
(1) お住まいの地域の危険性(地震・風水災等)について

以前から理解していたが、より意識が高まった	29
ある程度知っていたが、今回さらに理解が深まった	35
これまであまり考えていなかったが、重要だと感じた	3
意識は特に変わらなかった	2
よくわからない	0



(2) 家庭でできる防災対策について(例：耐震化、家具固定、避難先の確認、備蓄など)

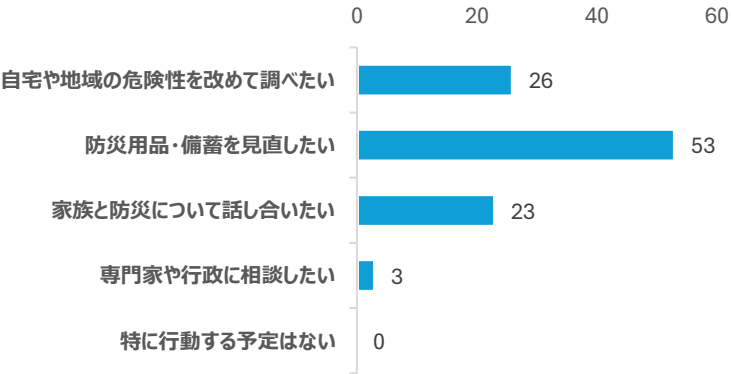
すぐにでも何か対策を講じようと思う	46
今後何か対策を考える必要があると感じた	18
特に対策の必要性は感じなかった	0
よく分からない	2



5. 【行動の変化(行動変容)】についてお聞きます

(1) セミナーを受けて、今後取りたい行動はありますか(複数回答可)

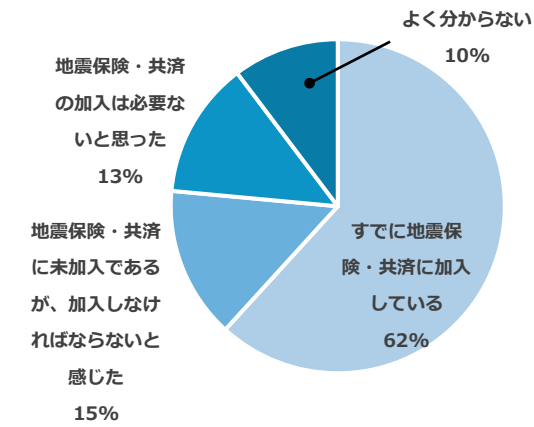
自宅や地域の危険性を改めて調べたい	26
防災用品・備蓄を見直したい	53
家族と防災について話し合いたい	23
専門家や行政に相談したい	3
特に行動する予定はない	0



6. 【地震保険・共済の必要性】についてお聞きします

(1) 現在の地震保険・共済の加入状況について

すでに地震保険・共済に加入している	42
地震保険・共済に未加入であるが、加入しなければならないと感じた	10
地震保険・共済の加入は必要ないと思った	9
よく分からない	7



(2) 本日のセミナーを聞いて、地震保険(共済)の必要性をどのように感じましたか

強く必要性を感じた	34
ある程度必要性を感じた	31
どちらとも言えない	3
あまり必要性を感じなかった	0
必要性を感じなかった	0

